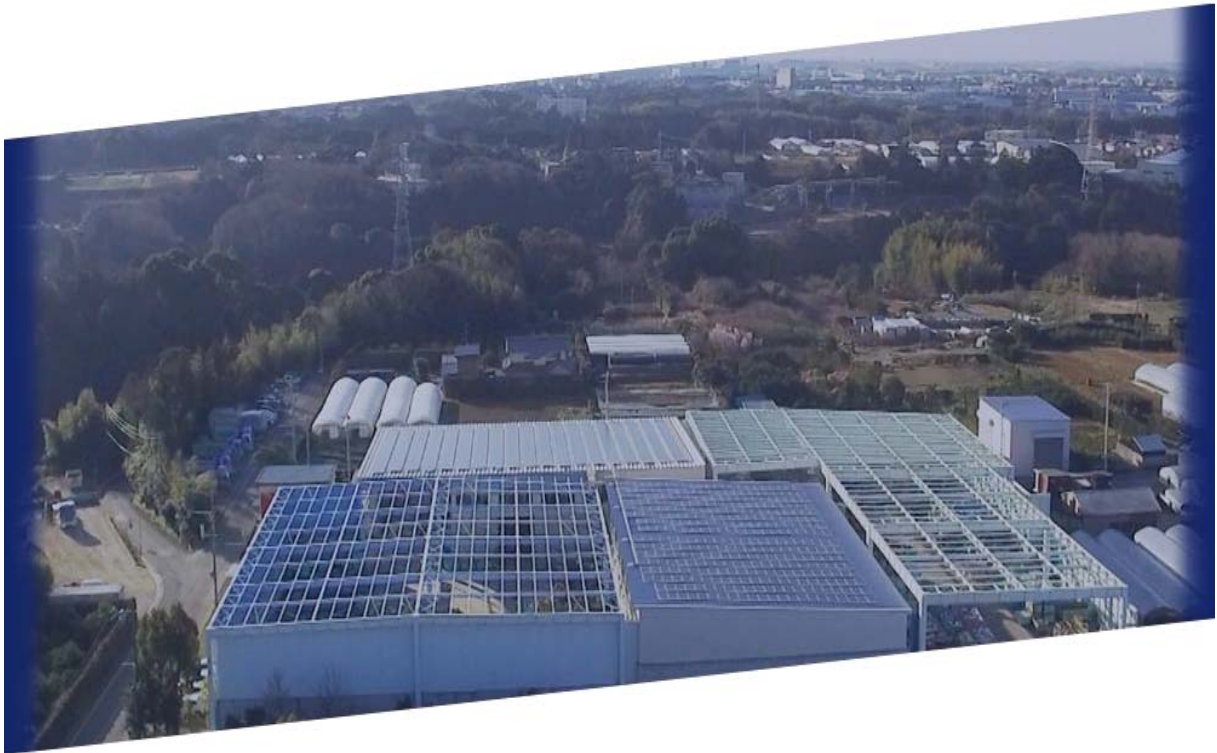


エコアクション21

# 環境活動レポート

2017



平成30年6月15日作成

取組期間:平成29年4月～平成30年3月

**MSK** GROUP

株式会社エムエスケイ

## 環境レポート 目次

1	組織の概要(その1)	.....	1	P
1	組織の概要(その2)	.....	5	P
2	環境方針	.....	8	P
3	実施体制組織図	.....	9	P
4	環境目標	.....	10	P
5	環境活動計画	.....	11	P
6	環境実績結果	.....	12	P
7	環境実績結果(グラフ)	.....	13	P
8	環境実績結果(コメント)	.....	14	P
9	取組実績とその評価 と次年度の取組内容	.....	15	P
10	関連法規への違反、訴訟等の有無の実績と評価	.....	16	P
11	環境コミュニケーション	.....	17	P
12	代表者による全体評価と見直しの結果	.....	18	P

# 1 組織の概要(その1)

## 1. 事業者名及び代表者名

株式会社エムエスケイ 代表取締役 橋本 茂昌 橋本 茂樹 橋本 昌子

## 2. 所在地

	サイト	住所	事業活動
取組対象	本社・工場(処理施設)	静岡県浜松市西区和光町505番地の1	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オフィス活動等(施設管理業務を含む)</li> <li>■ 計画・設計に係る活動</li> <li>■ その他の活動(リサイクル推進、地域貢献等)</li> </ul>

## 3. 設立年月日 昭和61年12月8日

## 4. 資本金 7,000万円

## 5. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者: 橋本 愛美

TEL 053-486-0746 FAX 053-486-1168

担当者 : 平山 厚史

TEL 053-486-0746 FAX 053-486-1168

E-mail a-hirayama@msk-g.co.jp

## 6. 事業内容

産業廃棄物処分業・産業廃棄物収集運搬業・リサイクル業

【許可一覧】

許可の種類	都道府県	許可番号	許可年月日	有効年月日
産業廃棄物処分業	浜松市	第06321003736号	平成29年7月3日	平成36年7月2日
産業廃棄物収集運搬業	静岡県	第02201003736号	平成25年8月20日	平成30年8月19日 (更新手続き中)
産業廃棄物収集運搬業	愛知県	第02300003736号	平成29年11月27日	平成36年11月26日
産業廃棄物収集運搬業	岐阜県	第02100003736号	平成26年6月10日	平成31年6月9日
産業廃棄物収集運搬業	三重県	第02400003736号	平成29年10月31日	平成36年10月30日
産業廃棄物収集運搬業	大阪府	第02700003736号	平成29年12月25日	平成36年12月24日
産業廃棄物収集運搬業	兵庫県	第02800003736号	平成28年12月5日	平成33年12月4日
産業廃棄物収集運搬業	奈良県	第02900003736号	平成30年1月18日	平成37年1月17日

## 【収集運搬種類】

燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、動植物性残さ

施設の処理の状況(収集運搬業)				
運搬施設の種類、数量、低公害車の導入状況	車両形状	積載量	積載可能寸法	保有台数
			全長×幅×高さ(CM)	
	キャブオーバー	7100kg	765×232×305	1
	脱着装置付コンテナ専用車	11300kg	902×249×288	1
	コンテナ専用車	5400kg	608×225×242	1
	キャブオーバー	6900kg	768×229×319	1
	脱着装置付コンテナ専用車	3950kg	578×219×242	1
	脱着装置付コンテナ専用車	11330kg	914×249×318	1
	脱着装置付コンテナ専用車	8200kg	645×227×249	1
	キャブオーバ	3250kg	610×189×273	1
	脱着装置付コンテナ専用車	8300kg	622×224×249	1
	ダンプ	2000kg	468×169×196	1
	キャブオーバー	8300kg	979×247×360	1
	キャブオーバー	3250kg	599×191×273	1
	キャブオーバー	3250kg	599×191×273	1
	キャブオーバー	3350kg	599×189×273	1
	コンテナフルトレーラー	10900kg	843×249×175	1

【処分方法・種類】

○圧縮

廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず

○切断

廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

○破碎

廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

処理施設及び処理の状況(処分業)	
処理施設の設置場所、設置年月日、施設の種類の、産業廃棄物の種類、処理能力、処理方式、構造・施設の概要	<p>施設の種類:圧縮施設                      産業廃棄物の種類:廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず                      設置年月日:平成24年5月31日                      設置場所:浜松市西区和光町507番5他1筆                      処理能力                      廃プラスチック類(156.8t/日(8時間))                      紙くず(143.2t/日(8時間))                      木くず(105.6t/日(8時間))                      繊維くず(105.6t/日(8時間))                      金属くず(100.8t/日(8時間))                      稼働時間:8時間                      処理方式:圧縮(番線結束式)                      構造、設備:最大出力102.3KW 高さ14mの外壁を設置</p>
	<p>施設の種類:圧縮施設                      産業廃棄物の種類:繊維くず                      設置年月日:平成24年7月27日                      設置場所:浜松市西区和光町508番1                      処理能力                      繊維くず(4t/日(8時間))                      稼働時間:8時間                      処理方式:圧縮(RPF製造装置)                      構造、設備:最大出力55KW×4P 工場建屋内に設置</p>
	<p>施設の種類:圧縮施設                      産業廃棄物の種類:繊維くず                      設置年月日:平成24年7月27日                      設置場所:浜松市西区和光町508番1                      処理能力                      繊維くず(4t/日(8時間))                      稼働時間:8時間                      処理方式:圧縮(RPF製造装置)                      構造、設備:最大出力55KW×4P 工場建屋内に設置</p>
	<p>施設の種類:切断施設                      産業廃棄物の種類:廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類</p>

設置年月日:平成24年7月27日

設置場所:浜松市西区和光町506番1

処理能力

廃プラスチック類(123t/日(8時間))

紙くず(77t/日(8時間))

木くず(169t/日(8時間))

繊維くず(123t/日(8時間))

金属くず(614t/日(8時間))

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(369t/日(8時間))

がれき類(455t/日(8時間))

稼働時間:8時間

処理方式:切断(ギロチンプレス)

構造、設備:AC200V:37KW・6P・両軸2台 工場建屋内に設置

施設の種類:破碎施設

産業廃棄物の種類:廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず

設置年月日:平成13年2月16日

設置場所:浜松市西区和光町506番1他2筆

処理能力

廃プラスチック類(4.8t/日(8時間))

紙くず(1.8t/日(8時間))

木くず(6t/日(8時間))

繊維くず(4.8t/日(8時間))

金属くず(18t/日(8時間))

ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(14.4t/日(8時間))

稼働時間:8時間

処理方式:破碎(二軸破碎機)

構造、設備:原動出力30KW×2台 刃数22枚

施設の種類:破碎施設

産業廃棄物の種類:がれき類

設置年月日:平成24年7月27日

設置場所:浜松市西区和光町506番1

処理能力

がれき類(4.6t/日(8時間))

稼働時間:8時間

処理方式:破碎(クラッシャー破碎機)

構造、設備:原動出力22KW 回転数(回転/分)2~8

施設の種類:破碎施設

産業廃棄物の種類:繊維くず(廃置に限る。)

設置年月日:平成24年7月27日

設置場所:浜松市西区和光町508番1

処理能力

繊維くず(廃置に限る。)(24t/日(8時間))

稼働時間:8時間

処理方式:破碎(一軸剪断式破碎機)

構造、設備:原動出力132KW 回転刃数44枚 工場建屋内に設置

	<p>施設の種類: 破碎施設  産業廃棄物の種類: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃石膏ボードに限る。)  設置年月日: 平成24年7月27日  設置場所: 浜松市西区和光町508番1  処理能力  ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃石膏ボードに限る。)(16.4t/日(8時間))  稼働時間: 8時間  処理方式: 破碎(一軸式破碎機)  構造、設備: 分離選別集塵一体化 細粒化原動出力3.7KW 回転刃数18枚 工場建屋内に設置</p> <p>施設の種類: 破碎施設  産業廃棄物の種類: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃瓦に限る。)  設置年月日: 平成24年7月27日  設置場所: 浜松市西区和光町508番1  処理能力  ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃瓦に限る。)(52.8t/日(8時間))  稼働時間: 8時間  処理方式: 破碎(一軸式クラッシャー破碎機)  構造、設備: 原動出力5.5KW×6P 工場建屋内に設置</p> <p>施設の種類: 破碎施設  産業廃棄物の種類: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃ガラスに限る。)  設置年月日: 平成24年7月27日  設置場所: 浜松市西区和光町508番1  処理能力  ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃ガラスに限る。)(70.4t/日(8時間))  稼働時間: 8時間  処理方式: 破碎(一軸式クラッシャー破碎機)  構造、設備: 原動出力5.5KW×6P 工場建屋内に設置</p> <p>施設の種類: 破碎施設  産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(水銀使用製品産業廃棄物に限る。)  設置年月日: 平成24年7月27日  設置場所: 浜松市西区和光町508番1  処理能力  廃プラスチック類(水銀使用製品産業廃棄物に限る。)(2t/日(8時間))  金属くず(水銀使用製品産業廃棄物に限る。)(2t/日(8時間))  ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(水銀使用製品産業廃棄物に限る。)(2t/日(8時間))  稼働時間: 8時間  処理方式: 破碎(バッチ式破碎機)  構造、設備: 原動出力4.5KW 工場建屋内に設置</p>
処理施設の設置許可	第011408221号 許可年月日 平成13年10月10日



# 1 組織の概要(その2)

## 7. 事業の規模

平成29年度事業規模(平成29年4月～平成30年3月)

売上高	819百万円/年
従業員数	34名
敷地面積	8522m <sup>2</sup>

年度別収集運搬実績表

	平成27年度(t)	平成28年度(t)	平成29年度(t)
廃プラスチック	5581.8	6397.6	4333.0
紙くず	556.7	484.7	659.0
ガラス及び陶磁器くず(石膏)	9540.8	3208.8	496.0
ガラス及び陶磁器くず	889.6	1748.7	220.0
木くず	4591.4	3627.0	4957.0
金属くず	1023.0	691.8	1346.0
繊維くず	108.7	124.6	9.0
がれき類	3071.0	5054.2	1487.0
燃え殻	0.0	39.9	36.0
がれき類(石綿含有)	0.0	98.9	0.0
汚泥	0.0	5.4	9.0
動植物性残さ	0.0	489.0	432.0
廃油	0.0	1.4	3.0
水銀使用製品産業廃棄物	0.0	0.0	93.0
合計	25363.0	21972.0	14080.0

年度別処分実績表

	処分方法	平成27年度(t)	平成28年度(t)	平成29年度(t)
廃プラスチック	圧縮・破碎	20667.1	11686.8	12005.0
紙くず	圧縮・破碎	2052.9	910.2	1007.0
ガラス及び陶磁器くず(石膏)	破碎	1704.8	0.0	3131.0
ガラス及び陶磁器くず	破碎	10079.6	6364.4	2637.0
木くず	破碎	7889.2	4953.5	5078.0
金属くず	破碎・圧縮	1686.8	3973.0	3736.0
繊維くず	破碎・圧縮	1219.9	145.6	207.0
がれき類	破碎	3402.1	7804.4	7556.0
水銀使用製品産業廃棄物	破碎	0.0	0.0	39.0
合計		48702.4	35837.9	35396.0



年度別中間処理後の2次排出実績表

	処分方法	平成27年度(t)	平成28年度(t)	平成29年度(t)
廃プラスチック	選別(押出形成・圧縮・破碎)	596.0		369.0
	埋立(安定型)	4317.3	7950.3	787.0
	埋立(管理型)			1351.0
	再生			8573.0
	選別			
	圧縮梱包	593.1		
	溶融	23.4		
	破碎	4046.6	2212.9	131.0
	破碎(減容固化)			88.0
	焼却		1521.9	706.0
紙くず	選別(押出形成・圧縮・破碎)	357.0		63.0
	埋立(管理型)			229.0
	選別			
	焼却	19.4		110.0
	破碎	502.7		
	破碎(減容固化)			15.0
	圧縮		149.9	
	再生			590.0
	売却		760.3	
ガラス及び陶磁器くず(石膏)	選別(押出形成・圧縮・破碎)			147.0
	乾燥・焼正・破碎			49.0
	破碎	8181.9		2421.0
	破碎・焼成			171.0
ガラス及び陶磁器くず	選別・破碎		31.5	
	破碎・焼成		5.3	
	乾燥・焼成		16.7	
	破碎		6001.0	
	売却		18.3	
	再生			9.0
木くず	埋立(安定型)	1323.3	291.5	164.0
	選別(押出形成・圧縮・破碎)	159.1		406.0
	埋立(管理型)			1467.0
	焼却	25.7		706.0
	破碎	5123.5	4953.5	2802.0
	破碎(減容固化)			96.0
	選別(押出形成・圧縮・破碎)			119.0
金属くず	売却	1686.8	3973.0	
	埋立(管理型)			431.0
	再生			3158.0
	破碎(減容固化)			28.0
	選別(押出形成・圧縮・破碎)	580.0		
繊維くず	減容固化	302.4		
	圧縮固化	14.7		
	破碎・固形燃料化		27.0	
	破碎・減容固化		114.9	175.0
	埋立(管理型)		3.7	
	破碎	1379.1	7530.6	1967.0
がれき類	埋立(安定型)	1007.9	273.7	1907.0
	合計	30239.9	35836.2	29235.0



# 処理工程

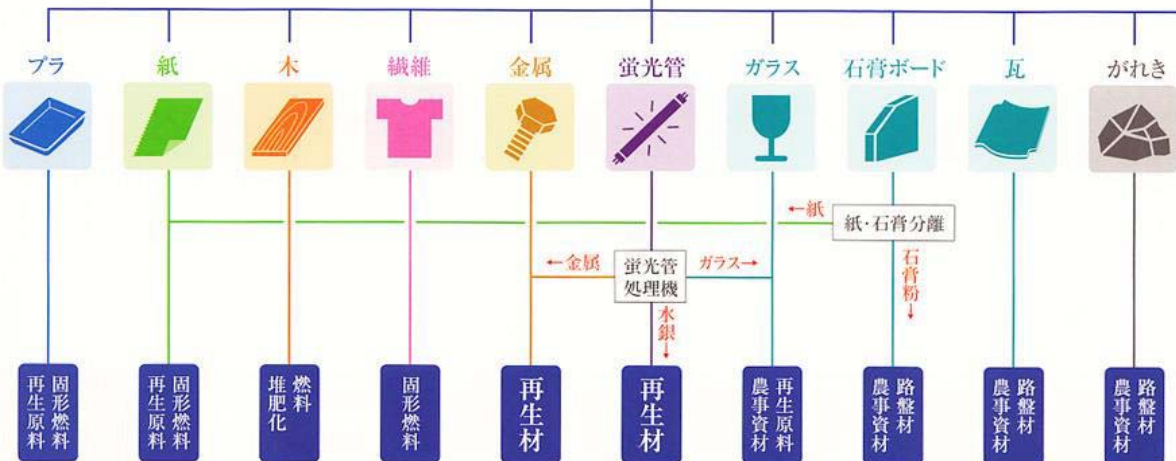


搬入・受入検査



粗手選別

各処理工程へ



## 2 環境方針

### 【環境理念】

当社は、積極的に環境問題を認識し、環境に関する法律、その他法規制を遵守し、事業活動のあらゆる分野で自主的、積極的に環境汚染防止に努め、これを維持・改善するための組織と仕組みを構築し、環境保全に取り組み、循環型社会の構築に努め、持続可能な社会の実現に貢献する企業をめざします。

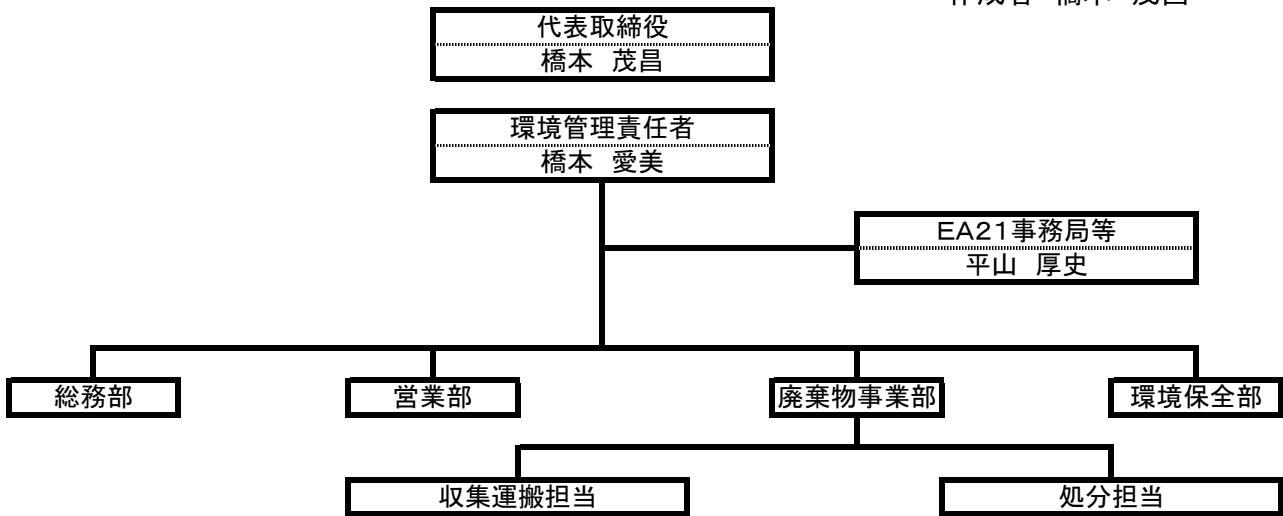
### 【行動指針】

1. 当社は事業活動を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め継続的な改善に努めます。
2. 関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力します。
3. 事業に於いて環境に与える影響を削減するため、次の事項に対して優先的に取り組みます。
  - (1) 電気使用量・化石燃料使用量の節減による二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
  - (2) 節水活動による水使用量の削減に取り組みます。
  - (3) 廃棄物の発生抑制・削減・リサイクルへ取り組みます。
  - (4) 受託産業廃棄物の二次産業廃棄物排出量の削減に取り組みます。
  - (5) 最新の公害防止技術・環境保全技術の導入に努めます。
  - (6) 収集運搬車両の燃料消費の削減に取り組みます。
  - (7) 事務用品資材等のグリーン購入に取り組みます。
  - (8) 関連する環境の法規、条例及びその他の規制事項を遵守します。
  - (9) 全員参加による環境保全活動を実行します。

制定 平成25年12月1日  
改定 平成29年4月1日  
株式会社 エムエスケイ  
代表取締役 橋本 茂昌

### 3 実施体制組織図

作成日 平成29年4月1日  
作成者 橋本 茂昌



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境方針の下、環境目標の達成に向けて、環境活動計画に基づき一致協力して環境取組を行う。

担当	内容
代表取締役	① 環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	② 環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。(資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③ 環境管理責任者を任命する。
	④ 環境方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑤ 代表者による全体の評価と見直しを実施する。
環境管理責任者	① 環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	② 作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③ 法規制等の遵守状況をチェックする。
	④ 環境方針及び自己チェック等に基づき環境目標を設定し、作成された環境活動計画を確認し承認する。
	⑤ 環境活動の取組状況を確認し、環境目標の達成状況を評価する。
	⑥ 問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦ 環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧ EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び 運搬・処分担当	① 責任範囲の環境目標及び環境活動計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告をする。
	② 責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置をとる。
EA21事務局	① 環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	② 環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③ 「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④ 環境活動計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤ 文書及び記録の管理保管をする。
	⑥ 外部コミュニケーションの窓口となる。
	⑦ 内部コミュニケーションの運営管理をする。
	⑧ 従業員に対する教育訓練の実施をする。
	⑨ 想定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録をする。
全従業員	① エコアクション21の活動をする。

## 4 環境目標

平成28年度(平成28年4月1日～平成29年3月31日)…基準年度

平成29年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成31年度(平成31年4月1日～平成32年3月31日)

平成32年度(平成32年4月1日～平成33年3月31日)

環境目標項目		単位	基準値	目標年度							
			2016年度 (平成28年度)	2017年度(平成29年度)		2018年度(平成30年度)		2019年度(平成31年度)		2020年度(平成32年度)	
				削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値
エネルギー使用量の削減	電力使用量/処理量(百t)	kWh/処理量(百t)	303.35	99%	300.32	98%	297.28	97%	294.25	96%	291.22
	ガソリン使用量/処理量(百t)	L/処理量(百t)	23.71	99%	23.47	98%	23.24	97%	23.00	96%	22.76
	軽油使用量/処理量(百t)	L/処理量(百t)	527.48	99%	522.21	98%	516.93	97%	511.66	96%	506.38
	灯油使用量/処理量(百t)	L/処理量(百t)	0.00	99%	0.00	98%	0.00	97%	0.00	96%	0.00
	ガス使用量/処理量(百t)	kg/処理量(百t)	0.41	99%	0.41	98%	0.40	97%	0.40	96%	0.39
二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量/処理量(百t)	kg-co <sub>2</sub> /処理量(百t)	147.43	99%	145.96	98%	144.48	97%	143.01	96%	141.53
	化石燃料の二酸化炭素排出量/処理量(百t)	kg-co <sub>2</sub> /処理量(百t)	1440.54	99%	1426.13	98%	1411.73	97%	1397.32	96%	1382.92
廃棄物の削減	一般廃棄物排出量	kg	1051.00	99%	1040.49	98%	1029.98	97%	1019.47	96%	1008.96
節水	水使用量	m <sup>3</sup>	140.00	99%	138.60	98%	137.20	97%	135.80	96%	134.40
グリーン購入	事務用品のグリーン購入		実施	グリーン購入に配慮する。							
環境配慮	受託した産業廃棄物			リサイクル率の増加を図る							
	粉塵の飛散防止			飛散防止対策は、壁の設置及び噴霧器による散水を行い、施設使用後においては、機械類及び周辺を清掃し、飛散防止する。 振動騒音対策は、機械をアンカーで固定し、振動を抑え、騒音に対しては防音壁を設ける。 万一の油分の流出に備え、油水分離槽を設置している。							
	振動・騒音										
	廃油の流出										
公害防止技術・環境保全技術の導入				公害防止技術・環境保全技術のjy東宝収集を常に出来ない、自工場に関連する機器ならびに処分工程に取り入れていく。							
社会貢献			実施	会社周辺の毎年1回の清掃	会社周辺の毎年1回の清掃	会社周辺の毎年1回の清掃	会社周辺の毎年1回の清掃	会社周辺の毎年1回の清掃	会社周辺の毎年1回の清掃	会社周辺の毎年1回の清掃	会社周辺の毎年1回の清掃

※基準年度実績に対して目標設定

二酸化炭素排出量の把握には中部電力株の平成27年度の実排出係数の0.486kg-CO<sub>2</sub>/kWhを用いました。

## 5 環境活動計画

環境への取り組み		具体的な取組内容		日程	担当者	
①二酸化炭素排出量(削減)	電力使用量の削減	事務所	事務所の照明は不必要な時は消灯する。	通年	平山厚史	
			ロッカー室や倉庫、作業休憩所、トイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する。	//		
			パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定にしている。	//		
			夜間、休日は、パソコン、プリンター等の主電源を切る。	//		
			ブラインドやカーテンの利用等により、熱の出入りを調整する。	//		
			クールビズ、ウォームビズをして冷暖房の使用を抑える。	//		
		工場	破碎機	//	大杉剛士	
			圧縮機	廃棄物の適切な投入、異物混入に注意し、無駄のない手順に添った運転を心がける。定期的自主点検のほか、運転会筋に点検を実施するとともに、機器清掃を常に行う。		//
			切断機	//		
②重機、車両整備・管理・燃料使用量の削減			低燃費の重機を使用し、アクセルの踏み過ぎに注意し、低回転での作業を行い、騒音、振動の低減を行う。	//	大杉剛士	
			アイドリングストップ、急発進、急ブレーキを避けるなど、エコドライブに徹底する。	//		
			オイル交換、タイヤの空気圧など、車両の適せつな整備を徹底する。	//		
			過積載が行われないよう徹底する。	//		
③水資源の削減			節水のラベルを貼り、手洗い時、洗い物においては日常的に節水を励行する。	//	平山厚史	
			運搬車両の洗車をする場合は、泥等を落としてから行う。	//		
			社用車の洗車を必要最低限に留め、洗車をする場合は節水を励行する。	//		
			水道管からの漏水を定期的に点検する。	//		
④廃棄物の削減・リサイクルへの推進二次産業廃棄物発生量を削減			受託した廃棄物の計測管理、搬入管理を行っている。	//	平山厚史	
			廃棄物を分別回収し、再利用可能なものは、リサイクル化する。	//		
			委託処分を可能な限り減らし、自社処理し、委託処分する場合は可能な限り濃縮する。	//		
			使い捨て製品(紙コップ、使い捨て容器入りの弁当等)の使用や購入を抑制する。	//	橋本愛美	
			再使用またはリサイクルしやすい製品を優先的に購入し、使用する。	//		
			詰め替え可能な製品の利用や備品の利用や修理等により、製品等の長期利用を進める。	//		
⑤グリーン購入			商品を購入時には簡易包装のものを優先的に購入する。	//	橋本愛美	
			エコマーク製品等の環境配慮製品を積極購入する。	//		
⑥受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮		リサイクル率増加	リサイクル向けの技術開発ならびに処理業者の選択	//	大杉剛士	
			粉塵の飛散防止	壁の設置及び噴霧器による散水を行い、施設使用後においては、機械類および周辺を清掃し、飛散防止する。		//
			振動・騒音	機器をアンカーで固定し振動を抑え、防音壁を設け騒音対策を講じている。		//
			廃油の流出	油分の流出に備え油水分離槽を設けている。		//
⑦公害防止技術・環境保全技術の導入			公害防止技術・環境保全技術の情報収集を常に行い、自社工場に関連する機器ならびに処分工程に取り入れていく。	//	平山厚史	
⑧社会貢献			会社周辺の清掃活動を毎年1回行うこととする。	//	平山厚史	

## 6 環境活動実績結果

### 環境実績結果

環境目標項目		単位	基準値 2016年度 (平成28年度)	2017年度(平成29年)			評価
				削減率	目標値	実績	
エネルギー使用量の削減	電力使用量/処理量(百t)	kWh/処理量(百t)	303.35	99%	300.32	331.84	×
	ガソリン使用量/処理量(百t)	L/処理量(百t)	23.71	99%	23.47	35.91	×
	軽油使用量/処理量(百t)	L/処理量(百t)	527.48	99%	522.21	603.39	×
	灯油使用量/処理量(百t)	L/処理量(百t)	0.00	99%	0.00		—
	ガス使用量/処理量(百t)	kg/処理量(百t)	0.41	99%	0.41	1.00	×
二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量/処理量(百t)	kg-CO <sub>2</sub> /処理量(百t)	147.43	99%	145.96	161.27	×
	化石燃料の二酸化炭素排出量/処理量(百t)	kg-CO <sub>2</sub> /処理量(百t)	1440.54	99%	1,426.13	1669.93	×
廃棄物の削減	一般廃棄物排出量	kg	1051.00	99%	1,040.49	1,062	×
節水	水使用量	m <sup>3</sup>	140.00	99%	138.60	132.00	○
グリーン購入	事務用品のグリーン購入		実施	グリーン購入に配慮する。	購入の際、エコマークの付いた商品を選ぶようにした。		○
環境配慮	受託した産業廃棄物			リサイクル率増加を図る。	66%		○
	粉塵の飛散防止 振動・騒音 廃油の流出			環境に配慮する。	作業時散水、重機の低速運転を行い、粉塵・振動・騒音が発生しないようにし、廃油についても工場内の清掃を徹底することで流失を防いでいる。		○
	公害防止技術・環境保全技術の導入			技術の情報収集を常に行い、自社工場に関連する機器ならびに処分工程に取り入れていく。	工場屋根に太陽光発電施設を設置(前年)し、再生可能エネルギーの利用を行っている。		—
社会貢献			実施	会社周辺の毎年1回の清掃	会社周辺の毎年1回の清掃		○

<備考> 達成→○印: 達成 △印: ほぼ達成 ×印: 達成できず



## 7 環境活動結果(グラフ)

CO<sub>2</sub>排出量比較(Kg-CO<sub>2</sub>)

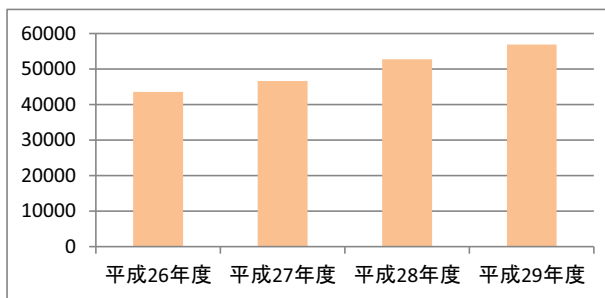
合計

平成26年度	364918.5
平成27年度	452864.9
平成28年度	568491.8
平成29年度	646417



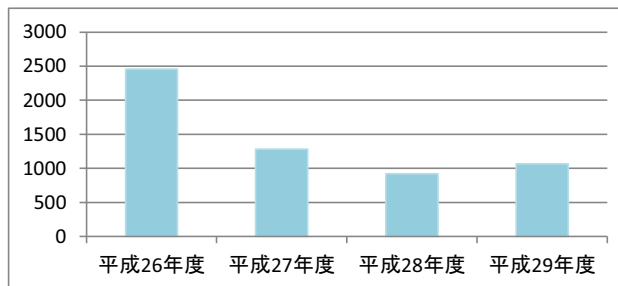
電力

平成26年度	43589.6
平成27年度	46663.4
平成28年度	52779.1
平成29年度	56930.5



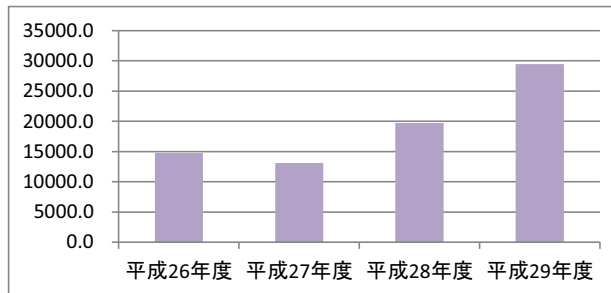
液化石油ガス

平成26年度	2459.4
平成27年度	1284.8
平成28年度	919.2
平成29年度	1068.1



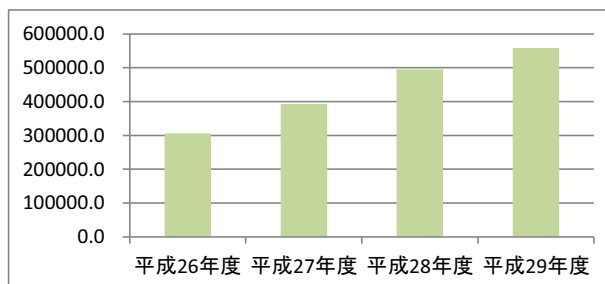
ガソリン

平成26年度	14729.0
平成27年度	13107.0
平成28年度	19708.6
平成29年度	29434.0



軽油

平成26年度	305473.1
平成27年度	392504.9
平成28年度	495583.0
平成29年度	558984.4





## 8 環境活動結果(コメント)

今年度は、環境目標数値を改めて設定した最初の年度となりました。従来CO<sub>2</sub>削減の評価は売上高を基準に行ってきましたが、年々増加する売上に対して単純な削減は厳しいことから、当社は産業廃棄物処理業(収集運搬・中間処分)であり、処分量を基準に目標達成に対する評価に変更し対比してまいりました。

今期におきましては、営業成績も順調に伸び、売上高も昨年度よりアップし、処分量も増加(m<sup>3</sup>単位)しました。

廃掃法の改正(平成29年10月施行)により、水銀廃棄物の分類がなされ、水銀が使用される蛍光管を処理する事業所は静岡県西部地区に3社と少なく、当社での処分量が大幅に増大しました。「ガラスず・コンクリートくず及び陶磁器くず」に該当する蛍光管の嵩比重(m<sup>3</sup>からtへの換算)が前年度の10分の1となったことから、処理量(t単位)対比での比較では正確性を欠くものになってしまいました。

受注の増大、工場内の機械化によって営業車両、重機が増えたことによる燃料の増加もありますが、今後は、短期的には少しでも燃料削減に向けたエコ運転の習得のための講習会への参加、長期的には低燃費車両、重機への転換を図るようにします。

中間処理後の廃棄物の2次排出リサイクル率は66%ですが、今後はこのリサイクル率も高めるよう努力します。

グリーン購入においても事務用品を中心に環境ラベル認定製品、省エネルギー製品に関心を持ち、積極的に取り組みました。今後も引続き意識が低下しないよう取組んでいきます。

今後においても、現在取組んでいる節約、節水の意識を継続し、身近なところでのエコドライブの徹底、アイドリングストップ、円滑発進を心掛け、長期的な燃料削減に取り組めます。



## 9 環境実績とその評価と次年度の取組内容

### 環境保全活動計画の評価と次年度の取組内容

環境への取り組み		具体的な取組内容		担当者	評価	次年度
①二酸化炭素排出量(削減)	電力使用量の削減	事務所	事務所の照明は不必要な時は消灯する。	平山厚史	○	継続
			ロッカー室や倉庫、作業休憩所、トイレ等の照明は、普段は消灯し、使用時のみ点灯する。		◎	〃
			パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定にしている。		△	〃
			夜間、休日は、パソコン、プリンター等の主電源を切る。		△	〃
			ブラインドやカーテンの利用等により、熱の出入りを調整する。		◎	〃
			クールビズ、ウォームビズをして冷暖房の使用を抑える。		◎	〃
	工場	破砕機	大杉剛士	◎	〃	
		圧縮機				
		切断機				
②重機、車両整備・管理・燃料使用量の削減		低燃費の重機を使用し、アクセルの踏み過ぎに注意し、低回転での作業を行い、騒音、振動の低減を行う。	大杉剛士	○	〃	
		アイドリングストップ、急発進、急ブレーキを避けるなど、エコドライブに徹底する。		○	〃	
		オイル交換、タイヤの空気圧など、車両の適せつな整備を徹底する。		◎	〃	
		効率的に廃棄物を積み込み、排出回数を抑える		◎	〃	
③水資源の削減		節水のラベルを貼り、手洗い時、洗い物においては日常的に節水を励行する。	平山厚史	◎	〃	
		運搬車両の洗車をする場合は、泥等を落としてから行う。		◎	〃	
		社用車の洗車を必要最低限に留め、洗車をする場合は節水を励行する。		○	〃	
		水道管からの漏水を定期的に点検する。		◎	〃	
④廃棄物の削減・リサイクルへの推進二次産業廃棄物発生量を削減		受託した廃棄物の計測管理、搬入管理を行っている。	平山厚史	◎	〃	
		廃棄物を分別回収し、再利用可能なものは、リサイクル化する。		◎	〃	
		委託処分を可能な限り減らし、自社処理し、委託処分する場合は可能な限り濃縮する。		○	〃	
		使い捨て製品(紙コップ、使い捨て容器入りの弁当等)の使用や購入を抑制する。	橋本愛美	◎	〃	
		再使用またはリサイクルしやすい製品を優先的に購入し、使用する。		○	〃	
		詰め替え可能な製品の利用や備品の利用や修理等により、製品等の長期利用を進める。		◎	〃	
⑤グリーン購入		商品の購入時には簡易包装のものを優先的に購入する。	橋本愛美	○	〃	
		エコマーク製品等の環境配慮製品を積極購入する。		○	〃	
⑥受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮	リサイクル率の増加	技術開発ならびに処理業者の選定を検討した	大杉剛士	◎	〃	
	粉塵の飛散防止	壁の設置及び噴霧器による散水を行い、施設使用後においては、機械類および周辺を清掃し、飛散防止する。		◎	〃	
	振動・騒音	機器をアンカーで固定し振動を抑え、防音壁を設け騒音対策を講じている。		◎	〃	
	廃油の流出	油分の流出に備え油水分離槽を設けている。		◎	〃	
⑦公害防止技術・環境保全技術の導入		公害防止技術・環境保全技術の情報収集を常に行い、自社工場に関連する機器ならびに処分工程に取り入れていく。	平山厚史	◎	〃	
⑧社会貢献		会社周辺の清掃活動を毎年1回行うこととする。	平山厚史	○	〃	

<評価>◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

## 10 環境法規への違反、訴訟等有無の実績と評価

平成30年6月15日

1. 下記のとおり違反はありませんでした。

遵守者 橋本愛美

環境関連法規等遵守評価記録表

法律等の名称 (関連する条例)	当社に適用される要求事項	遵守 状況
廃棄物処理法(施設関係)	設置許可の基準	遵守
廃棄物処理法(処理基準関係)	産業廃棄物の収集又は運搬基準	〃
	産業廃棄物の処分又は再生基準	〃
	産業廃棄物の保管基準	〃
廃棄物処理法(委託基準関係)	事業範囲に含まれるものの委託	〃
	書面による適正な委託契約書の締結・保存	〃
	産業廃棄物管理票の適正な交付・受取	〃
	産業廃棄物管理票の5年間保存	〃
	産業廃棄物管理票の帳簿の備付け、閉鎖、保存	〃
大気汚染防止法	特定施設の設置の届出	〃
	基準値の遵守	〃
騒音規制法	特定施設の設置の届出	〃
	基準値の遵守	〃
振動規制法	特定施設の設置の届出	〃
	基準値の遵守	〃
悪臭防止法	基準値の遵守	〃
水質汚濁防止法	基準値の遵守	〃
	毎月の検査	〃
	結果は3年間保管	〃
消防法	消火器の点検を毎年1回以上実施	〃
浄化槽法	施設の届出・浄化槽の管理	〃
高圧ガス保安法	高圧ガスの消費技術基準	〃
	高圧ガスの貯蔵技術基準	〃
	高圧ガスの廃棄技術基準	〃
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	〃
資源有効利用促進法	パソコン、ビン、ダンボール、ペットボトルのリサイクルへの協力	〃
フロン排出抑制法	エアコン廃棄時には業社に依頼し適正に処理、簡易点検	〃
家電リサイクル法	家電4品目の小売店等への適正な引渡し	〃
自動車リサイクル法	リサイクル料金の支払い・廃車の引き取り業者への引渡し	〃
静岡県環境基本条例	油水分離層の設置	〃
静岡県生活環境保全条例	騒音振動特定施設の設置の届出等	〃
浜松市西区産業廃棄物の適正な処理適正な処理に関する条例	毎年1回、産業廃棄物の処理の状況についての報告	〃
	所有地等を適正に管理	〃
	排出事業者や周辺住民に対して積極的な情報公開	〃

2. 過去3年間は関係者からの訴訟はありませんでした。

## 11 環境コミュニケーション

今年度においても近隣住民からの苦情等はありませんでした。

平成29年4月17日から20日にかけて当社が排出する廃棄物(2次排出)を委託している業者19社の視察を行いました。

平成29年6月28日 浜松市廃棄物対策課による現場視察を受けましたが、特段の指摘事項もなく終了しました。

平成29年9月8日 年1回以上を目的としている清掃作業を動員数5名にて本社周辺にて行いました。

平成30年2月9日ならびに3月16日に当社に委託している排出業者2社を視察してきました。

これらの活動をととして、当社が廃棄物処理において当社の環境方針に合致しているかどうかの確認ならびに他社を視察することで当社の活動に取り入れるべき事項等の発見にも繋がり意義を見出すことが出来ました。





## 12 代表者による全体評価と見直しの結果

### 代表者による全体の評価と見直し

報告	作成
橋本	平山

作成 平成30年6月6日

1・見直し 関連情報	項目		確認	:(必要に応じて評価・コメント記載)
	1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>	記録・文書として作成しました。
2	環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	CO <sub>2</sub> 排出量は電力達成、化石燃料、電気、ガソリン・軽油と主たる項目において未達成	
3	環境活動計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	継続して取り組みます	
4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	記録に記載いたしました。	
5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	記録に記載いたしました。	
6	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	別紙にて報告するようにします	
7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/>	別紙報告の通り	
8	その他( )	<input type="checkbox"/>		

2・代表者による 全体評価・見直し 指示	<p>エコアクション21の環境へ取り組みは、会社全体に定着し、その効果は環境面、経営面だけでなく社会的に果たす役割においても認識が高まり、社会に必要とされる企業のあり方に関心が向くようになり、経営者の努力が確実に身を結んできているという実感を持つことが出来ました。</p> <p>エネルギーの使用量、CO<sub>2</sub>の排出量の評価方法を処分量に対する使用量で評価するように変更して対応してきましたが、今年度から廃掃法の変更により、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くずの品目に水銀使用製品廃棄物が加えられ、それが当社の主要取扱廃棄物となり売り上げならびに処理を延ばすことになりましたが、その品目の嵩比重が従来の10分の1となることから、変更した評価方法では、エコアクションの取り組みの成果が正しく評価できなくなり、今後その評価方法に対する対策を講じる必要が生じました。</p> <p>取組に対する評価がわかりやすくなるよう次年度に考えていきたいと思っております。</p> <p style="text-align: center;">平成30年6月6日</p> <p style="text-align: right;">代表取締役 <b>橋本 茂昌</b></p>			
	見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等	
	1	環境方針	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	2	環境目標	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	目標を達成できるよう見直すこと
	3	環境活動計画	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	4	環境に関する組織	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	5	その他のシステム要素	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
	6	その他(外部への対応)	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	